

教育長賞

堺市立 百舌鳥小学校 六年

松谷 郁花

人を大切にし、平等な社会へ

最近、テレビをつけるとほぼ毎日のように犯罪のニュースが一つは流れてくる。そして私は犯罪をおかしてしまった人は、つかまつて、人を傷つけたことを後悔し、被害者の苦しさ、つらさ、こわさを知ってほしいと思う。

でも、苦しくて、つらくて、こわいのは被害者だけではない。犯罪をおかしてしまった人も、被害者とのトラブル、暮らしていた環境などに苦しんで、犯罪をおかしてしまったのだと思う。

だから、私たちは身近な人から大切にしないといけない。家族、友達、地域の人などをみんなが大切にすることだ。こうすることで苦しいと思う人も増えないし、トラブルが起こることも無くなる。そして、みんな「だれかに大切にされているんだ。」と思える。だから、これからは、友達にはやさしくし、だれの悪口も言わず、感謝を伝え、家族にはあいさつをして感謝を伝え、お手伝いをしてよくしゃべり、地域の人には大きな声であいさつをして、元気をあげたいと思う。

また、学校で、犯罪ではないけれど、けんかをする人がいる。け

んかも犯罪と同じで、何かが原因で起こる。でも、けんかもみんなが助け合えば減らすことができる。

そして、犯罪をおかしてしまった人は、つかまつり、人を傷つけたことを後悔して、もとの社会にもどってくる。しかし、一度犯罪をおかしてしまえば取り消しができない。だから、社会はその人をつらみ平等に接してくれなくて犯罪をおかした人は、反省してもどってきたのに、幸せに暮らせない。正直、犯罪をおかした人と平等に接することは少しこわい。いつ、何が起きて、何をされるかがわからないからだ。でも、そんなことで平等に接せられないのは、おかしいと思う。だから、これからは、犯罪やけんかを減らし、もとの社会にもどってきた人に幸せに暮らしてもらうために、身近な人を大切にし、もとの社会にもどってきた人も平等に接して、今後絶対に犯罪をしないと信じて、明るい社会にしていきたいと考えている。

